

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		健康づくり応援事業				担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29111
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち				事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり				根拠法令 個別計画等	健康増進法・食育基本法・深谷市健康づくり推進条例・ 深谷市健康づくり計画			
	小項目	1	健康づくりの推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		本事業は、市健康づくり推進条例及び市健康づくり計画に拠り、市民を対象に健康教育・健康講座、市健康マイレージ事業及び食育推進事業を実施し、市民の健康に対する意識の高揚を促すとともに、官民協働の取組により市民自らが健康づくり活動を行うことを支援するものである。									
目的 ※何のために		健康づくりや食育に関する知識の普及・啓発、実践や取組に対する支援活動を行い、市民自らの健康づくり活動を促す。									
対象 ※誰・何を対象に		市民									
手段 ※どのように		健康長寿埼玉モデル事業、市健康マイレージ事業、健康づくり応援店登録事業、運動実践・健康講座、食育推進事業等により、健康づくりや食育に関する啓発活動及び、実践に対する支援事業を実施。									
成果 ※何を求めるか		健康に対する意識を醸成し、自ら健康づくり活動に取り組む市民が増える。									
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他(保健センター事業関連団体)									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	衛生諸費	健康づくり応援事業		16,617,231
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	衛生諸費	ふっかちゃん子ども食育サポート事業		1,036,200
本事業の 主な業務		・ 深谷市健康づくり計画の推進						・ 食育推進事業の実施			
		・ 健康及び運動実践講座等の開催						・ 自殺予防対策の推進			
		・ 健康づくり等に関する啓発活動の実施						・ 熱中症予防対策の推進			
		・ 市健康マイレージ事業の実施(ためるんピックふかや・ALK00マイレージ)						・ ふっかちゃん子ども食育サポート事業(食食用マット)			
		・ 健康づくり応援店登録事業の実施						・			
		・ みんなで健康マイスター事業の実施						・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		・健康づくり応援事業に事業統合、名称変更し一体的に健康づくり事業を推進	・健康づくり支援アプリ事業の拡大 ・食育サポート事業導入（ふっかちゃん子ども福祉基金活用）	・第2次市自殺対策計画策定 ・ICTを活用した事業企画（デジタル版健康マイレージ等）	・第3次市健康づくり計画策定 ・ALK00マイレージ事業導入 ・食育サポート事業	・第3次市健康づくり計画推進 ・ALK00マイレージ事業継続 ・食育サポート事業		
事業費	予算（現額）	12,491,000	16,692,000	17,146,000	22,505,000	14,952,000		
	決算額	9,237,326	13,280,371	15,045,816	17,653,431	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	689,000	705,000	721,000	746,000	753,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	3,000	2,893,000	2,564,500	1,045,800	2,073,000	
		一般財源	8,545,326	9,682,371	11,760,316	15,861,631	12,126,000	
人件費	従事職員数（人）	1.65	2.31	2.65	2.85	2.85		
	人件費相当試算※	12,984,770	18,503,482	21,788,939	24,159,718	25,104,194		
総事業費試算		22,222,096	31,783,853	36,834,755	41,813,149	40,056,194		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
		実績値の算出式								
活動指標 1	健康づくり・食育推進事業開催数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		225.00	263.00	153.00	124.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに事業を見直すため目標設定なし/実施回数（実績）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	健康づくり・食育推進事業総参加者数	目標値	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		8,545.00	9,258.00	7,238.00	13,570.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年度ごとに事業を見直すため目標設定なし / 年間参加者数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	健康づくり・食育活動団体加入者数	目標値	人	300.00	305.00	310.00	315.00	320.00	325.00	
		実績値		244.00	209.00	174.00	335.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績値から目標値を設定 / 保健センター事業関連団体（食改・健康づくり応援店等）加入者							
	実績値の算出式									
成果指標 3	ためるんピックふかやに参加して健康に関する意識が高まった人	目標値	%	91.00	94.00	94.00	94.50	94.50	95.00	
		実績値		94.00	96.30	91.30	96.40			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		健康づくりに関心をもつようになった及び取り組むようになったと回答した人の割合 / 達成者アンケート							
	実績値の算出式									
成果指標 4	健康的な食生活に気をつけている市民の割合	目標値	%	86.60	86.70	86.80	86.90	87.00	87.10	
		実績値		81.20	84.30	83.3	84.50			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市まちづくりアンケートより把握 / 市まちづくりアンケート							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	国・県の計画や市民の意識調査結果を踏まえ、地域の課題を抽出し第3次健康づくり計画を策定した。健康づくり支援アプリ【ALK00マイレージ】を新規に実施。インセンティブとしてネギーチャレンジを活用したことで参加者の大幅な増加につながった。【ためるんピックふかや】では市公式LINEを活用し市民にとって参加しやすくなり、担当課としてもデータ集計や分析が容易になった。その他食生活改善推進員や健康づくり応援店等との協働による健康づくりに関する情報発信など実施。全庁的な熱中症対策の実施、ゲートキーパー養成講座等計画通りに事業を実施できたことから評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	健康づくりに関する市民の関心は高い。 「健康的な食生活に気をつけている市民の割合」（市まちづくりアンケート）は目標値に達していないが経年で8割を超えている。今後も企業、地域団体等との協働、参加世代拡大を図る取組が必要であることから評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 権田智恵子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	事業の執行や手段などについてはデジタル化を取り入れ市民の利便性や幅広い世代への事業への参加にもつながった。今後も官民協働による効率的な取り組みを推進していく必要がある。
			評価者 健康推進係長 権田智恵子